



平成 28 年 10 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

第 19 回新株予約権の行使に伴う調達資金に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 25 日付「第 19 回新株予約権（行使価額修正条項付き）（第三者割当）の発行及び新株予約権買取契約（「コミット・イシュー 2016 モデル」）の締結に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」（以下、「資金使途」といいます。）について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成 28 年 5 月 25 日開催の取締役会にて、第 19 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行を決議し、平成 28 年 6 月 13 日に当該新株予約権買取契約を締結、平成 28 年 9 月 1 日までの期間において、当該新株予約権の行使に伴う資金調達を実施してまいりました。平成 28 年 5 月 25 日発行決議時点での手取額（発行諸費用差引後）を 3,092 百万円と想定しておりましたが、実際の手取額（発行諸費用差引後）は 2,219 百万円と、873 百万円の差異が生じる結果となりました。また、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、UMN-0502（組換えインフルエンザ HA ワクチン（多価））の製造販売承認時期が想定より更に後ろ倒しとなる見込みとなりました。当該状況を受け、本日開催の取締役会にて、平成 28 年 12 月期における連結及び単体業績予想を修正することにつき決議いたしました。

かかる事業環境の変化に鑑み、第 19 回新株予約権発行決議時に、米国向け Flublok®原薬輸出事業等を見据えた岐阜工場生産能力の増強のための設備投資資金として充当する予定であった 591 百万円のうち、410 百万円を追加的に発生する岐阜工場の維持費用に、113 百万円を UMN-0502 をはじめとする自社開発パイプライン及びジカウイルスワクチン等新規シーズへの研究開発資金に、それぞれ振り替えて充当することといたします。また、当社は 900 百万円を岐阜工場設備投資の一部に充当することを目的として借り入れた借入金の返済として充当する予定でありましたが、第 19 回新株予約権の実際手取額に大幅な差異が生じたことから、返済を取り止め、当面の間、借入を継続することといたしました。一方、米国向け Flublok®原薬輸出事業準備関連資金は、試験製造ロット数が減少したことにより、実際の支出額が当初の予定であった 918 百万円から 723 百万円に減少したことから、これらの差額を、既に返済を開始している株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローントランシェ A 長期借入金の返済資金 261 百万円の一部として振り替えて充当することといたしました。変更後の資金使途の詳細については、「2. 変更の内容」をご参照ください。

なお、設備投資計画につきましては、生産能力増強を通じて国内市場及び米国向け Flublok®原薬輸出をはじめとするバイオ医薬品原薬の供給機会を拡大していく方針に変更はなく、今後の岐阜工場増設投資資金、及び当該増設工事に係る借入金の返済につきましては、別途調達を検討してまいります。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。（変更箇所は_____で示しております。）

【変更前】

手取資金の使途	具体的な内訳	金額（百万円）	支出予定時期
連結子会社である株式会社 UNIGEN への投融資資金	① 米国向け Flublok®原薬輸出事業実現に向けた岐阜工場生産能力の増強及び FDA による製造所認可対応 ア. 岐阜工場の生産能力増強を目的とする設備投資資金 イ. 設備投資資金の一部に充当することを目的として借り入れた借入金の返済資金 ウ. 米国向け Flublok®原薬輸出事業準備関連資金	591 900 918	平成 28 年 6 月～平成 29 年 12 月 平成 28 年 6 月～平成 28 年 12 月 平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月
	② 岐阜工場運転資金	100	平成 28 年 6 月～平成 28 年 12 月
	③ 株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローントランシェ A 長期借入金の返済資金	261	平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月
自社開発資金	自社開発パイプライン及び新規シーズの研究開発費用	322	平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月
合 計		3,092	

【変更後】

手取資金の用途	具体的な内訳	金額（百万円）	支出予定時期 （注1）
連結子会社である 株式会社 UNIGEN への投融資資金	① 米国向け Flublok®原薬輸出事業実現に向けた岐阜工場生産能力の増強及び FDA による製造所認可対応		
	ア. 岐阜工場の生産能力増強を目的とする設備投資資金	29	平成 28 年 6 月～ 平成 28 年 8 月
	イ. 設備投資資金の一部に充当することを目的として借り入れた借入金の返済資金	二	二
	ウ. 米国向け Flublok®原薬輸出事業準備関連資金	723	平成 28 年 6 月～ 平成 28 年 10 月
	② 岐阜工場運転資金	510	平成 28 年 6 月～ 平成 28 年 12 月
	③ 株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローンランシェ A 長期借入金の返済資金	522	平成 28 年 6 月～ 平成 28 年 12 月
自社開発資金	自社開発パイプライン及び新規シーズの研究開発費用	435	平成 28 年 6 月～ 平成 29 年 2 月
	合 計（注2）	2,219	

（注1）既に支出した用途につきましては、確定した時期を記載しております。

（注2）合計金額は、いずれも発行諸費用差引後の額（税抜）を表示しております。

3. 今後の見通し

本件変更に伴う、当社業績への影響は軽微であります。なお、UMN-0502 の製造販売承認取得時期の更なる後ろ倒しに係る業績への影響につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上